

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 花ごころ				公表日	2026年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		定員調整を行っています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		基準を満たしながらお子さまの発達状況や定員数に応じ人数調整をしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		イラストや色分けを行うなどお子さまに分かりやすい環境を心がけています。	完全バリアフリー化はしていないが必要な配慮を行えるよう対応します。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の清掃や消毒を行い清潔な空間を心がけています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別での療育室や静養室を設けプログラムやお子さまの状況に合わせて部屋を使い分け活用しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		朝礼・昼礼にて、午前午後の打ち合わせを行い情報共有を行うのと共に、一週間の振り返り次週の週案や目標を話し合い共有するばを設けています。	職員皆が参加できるような時間調整、また参加できていない職員への情報共有も行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		週に一回は全体ミーティングを行い職員間で話し合いの場を設けています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		毎週、社内・外部研修の実施時間を確保しています。	職員が積極的に参加し学びの機会を確保できるよう情報提供を行っていきます。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		ガイドラインに基づき作成しホームページにて公表しております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		個別・集団時の様子や設定や自由遊び等それぞれの場面での様子を5領域をふまえたアセスメントをツールを用い計画書を作成しています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		原案を作成し、それを基に職員が集まりカンファレンスを実施し本案をまとめています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援計画に沿った活動を行えるよう研修やミーティングを行っております。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		スケールや事業所の調査票を活用し、日々の行動を5領域に分け記録し状況把握を行っています。	職員各々が日々の行動観察を行えるよう今後も努めてまいります。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインに沿って設定しています。本人支援だけでなくご家族様、園に対しても対応できるよう必要に応じてコミュニケーションをとる機会を設けています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		週案、年間活動のミーティングを行いチーム皆の意見を合わせながらプログラムの立案をしています。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		振り返りや前回内容との比較も行いながら飽きず様々なことに取り組んでもらえるようプログラム立案しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		毎回の集団での活動、月に1から2回の個別を基本に計画、支援しお子さまの状況に合わせて対応しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝礼・昼礼を行いリーダーや加配、その日の流れの確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		連絡ノートに加え、日々の気付いたことを記録し職員間で共有できるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	保護者様の要望や了承のもと園との連携を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	支援計画のお渡しや保護者様の必要に応じ対応しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		今後、ニーズや必要に応じて実施検討いたします。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時や連絡ノートのやり取りにて家や園での様子を聞き取りながら現状の共通理解をできるようにしています。	事業所からの働き掛けもより行っていけるようにしていきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		今後、ニーズや必要に応じて実施検討いたします。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			相談をしやすい環境づくりやコミュニケーションを取りながら信頼関係の構築を行えるよう努めていきます。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4			今後、ニーズや必要に応じて実施検討いたします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2			充実した内容や更新を行えるように努めていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			絵カードの利用や理解度に合わせた提示の方法をするよう心掛けています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4			今後、ニーズや必要に応じて実施検討いたします。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			BCPの策定と共に定期的な訓練や研修を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			見学対応時に確認行くと共に調査書への記入も保護者様にお願いしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4			今後、ニーズや必要に応じて実施検討いたします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			お知らせすべき事項がある際にはホームページやアプリ、個別でのお電話で連絡しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			週一回のミーティング時に検討を行っております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		4			今後、ニーズや必要に応じて実施検討いたします。